

野菜の展望

前年は大きな台風の襲来もなく、秋以降暖秋傾向で、野菜全体に年内いっぱい安値傾向となりました。今年度は北海道での7、8月お未曾有の高温と干ばつ、九州での9、10月の記録的な高温と干ばつにより数品目に影響が残っていますが、台風の日本本土への上陸もほぼなく、梅雨明け以降の好天から8月以降に播種された農産物の生育はおしなべて順調となっています。

葉茎菜類の白菜は、茨城産他の入荷となり、石川産は中旬で終了です。キャベツは愛知・茨城産中心に、安定した出回りとなります。葱は石川産結束品主体に上旬より大分産の入荷で、バラ物では埼玉・群馬産等の入荷となります。レタスは兵庫産中心に静岡・長崎産の入荷となります。ほうれん草は福岡・静岡産主体に、石川・群馬・岐阜産の入荷となります。

根菜類の蓮根は石川産が前日掘りをスタートしたことで増量が見込まれ、他に茨城産も加わり、日々安定した入荷量が期待できます。大根は千葉産中心の入荷となります。各地順調な入荷が見込まれます。人参は愛知産中心の入荷となります。岐阜産と石川産は中旬までの入荷を見込みます。それ以外の各産地は好天に恵まれ順調な入荷が見込まれます。

果菜類の胡瓜は高知・愛知産主体に平年並みの入荷が予想されますが、石川産については終盤を迎えます。トマトについても石川産は終盤となり、愛知・岐阜産中心に、中下旬より増量が見込まれます。ピーマンは高知・鹿児島産で安定した入荷となる見込みですが、果菜類全般に燃油価格の高騰の影響で出回り量が鈍る可能性があります。冬至に需要が高まる南瓜は石川・鹿児島産中心に、メキシコ産の入荷です。

柚子は高知・徳島産中心ですが、主産地の高知県は裏年、徳島県は主力となる阿南地区が裏年で他の地域は表年です。肥大状況は遅れ気味で小玉傾向となっています。高知産は5kgバラ玉、徳島産は250gパック中心の入荷です。高知産、徳島産ともにやや少なめの入荷を見込んでいます。きのこ類では石川産椎茸を中心にえのき・ナメコやぶなしめじ等が最需要期を迎えて、生産体制もフル稼働となり、量販対応可能になると思われます。石川産の原木椎茸「のとてまり」は12月16日（木）が初売りの予定です。石川産のせりの生産者は2軒に減少しており、熊本・大分・高知・宮城等の県外産で、年末需要に対応してまいります。

土物類の馬鈴薯は北海道・長崎産の入荷です。北海道産の出荷量は生産面積の大幅な減少に加え、夏期の高温・干ばつの影響から不作で、平年よりも少ない入荷が予想されます。長崎産も10月の高温干ばつから不作が予想されています。玉葱は北海道産の入荷ですが、過去にない程の不作で出回り量は少なく高値での推移です。ごぼうは青森産主力にL・M中心となりますが、前年と比較し潤沢な入荷が見込まれ価格も平年並みの見込みとなります。長芋は北海道・青森と両産地共に新物出そろいますが、太物中心の入荷が見込まれます。

12月はお歳暮・クリスマスなど最需要期を迎え、集荷には万全を期して参りますので販売拡大にご協力をお願い申し上げます。

《野菜第三部部長 杉本智則》

果実の展望

あわただしい師走に入り、年末贈答の最需要期を迎える時期となりました。

みかんは表年で、入荷量は昨年より減少と予想されます。食味については糖度は例年並み、酸味切れのよいみかんとなっております。肥大状況については 2L・L サイズ中心の出荷です。このことから、今年は福岡産(マイルド)・長崎産(味ロマン)などの、高糖度商品の割合は少ないと思われます。尚、早生種から普通種への切り替わりについては、主力産地の長崎・福岡産ともに 10 日頃となる予定です。

りんごは長野・山形・青森からの出回りで、昨年より減少となる見込みです。

莓は愛知・九州地区より、章姫・紅ほっぺ・ゆめのか・あまおう・さがほのか等の各品種の入荷があり、今後の天候の影響にもよりますが前倒しの出荷となっており、昨年に比べ数量減の見通しです。

柿は福岡産（JAにじ）より中旬から冷蔵富有柿に切り替わっての入荷です。

干し柿は石川産中心の入荷で、JA志賀のころ柿は前年並みの入荷見込みです。富山産についても同じく前年並みの入荷となる予想です。

メロンについては静岡産が前年よりも出荷量は減少すると見られ、高知・九州地区についても少ない入荷となる見込みです。

輸入果実のバナナはフィリピン産中心に南米産の入荷で、各産地ともに順調な入荷となります。オレンジはオーストラリア産バレンシア、及びカリフォルニア産ネーブルの販売です。オーストラリア産バレンシアは 72 玉、88 玉中心、カリフォルニア産ネーブルは 88 玉中心の入荷になります。年内の販売についてはオーストラリア産が中心で、年明けからはカリフォルニア産に切り替わります。グレープフルーツはフロリダ・イスラエル産の入荷で、フロリダ産については入荷は少ないですが、イスラエル産は安定した入荷が見込まれます。レモンはカリフォルニア産の入荷で 140 玉、165 玉の小玉サイズ中心になります。パインはゴールデン・スイーティオともに順調な入荷が見込まれます。その他、イスラエル産スイーティー、オーストラリア産ハネジウメロン、カリフォルニア産レッドグローブ・シードレスブドウ・メローゴールド・、メキシコ産アボカド、ブラジル産マンゴーに加えてオーストラリア産とタイ産の入荷も見込まれています。

本年も一年間の締めくくりの月となりましたが、何卒宜しくお願い申し上げます。

《果実部部長 荒木 智》